

農経新聞

株式会社 農経新聞社
 東京都品川区西五反田
 1-27-6 市原ビル9F
 (郵便番号 141-0031)
 電話 東京 (03)3491-0300
 F A X (03)3491-0536
 ホームページ
<http://www.nokei.jp>
 郵便局番 00180-9-156882

食の検定 販売業務の「下地」に 広島市場など各地で団体受験を実施

食の資格が人気を博して
 いる「食」に関する不安を払
 拭するため知識を深めた
 い」という消費者が増えて
 いるからだ。その数ある資
 格の中で、食と酒を横断的
 に扱う検定試験として注目を
 を集めているのが「食の検
 定・食農3級」(主催：有限
 責任中間法人 食の検定協
 会)。畑から食卓までをテ
 マに、農業生産や流通、栄
 養学、調理法といった消費
 者までの基礎知識を問うもの
 で、これまでに四、三〇〇
 人が取得。食品や農業関係
 者の受験が多いのが特徴
 だ。
 卸売市場関係者の参加も
 盛ん。横浜丸中青果、東果
 大阪、丸果石川中央青果な
 どでは社を挙げて取組んで
 いる。団体が二〇人以上集
 まれば受験料の割引特典が
 付与され、また、地元で受
 験が可能になることもあ
 り、社員教育の一環として
 取り入れている。
 広島では、仲卸業者を中
 心に広がっている。広島市
 中央青果卸売協同組合は、
 昨年、青年会が呼びかけて
 六〇人以上がチャレンジし
 た。「小売業者への提案が、
 より積極的にできるよきに
 なれば」(青年会・古田顕会
 長「原青果常務」との想い
 からだ。
 日常業務をしながらの勉
 強は「大変だったが、(学
 ぶ)機会をつくるのが大
 切。また、習得した知識は
 販売していくうえで下地
 になる」と卸にも促し、六
 月十二日に行われる三回
 目の検定試験には五六人が
 臨む。
 なお、3級の試験内容は

古田会長(右)と佐藤善行・事務長補佐(左)、テキストは、組合入口ポスターを掲示して啓発(二、六二五円)は全国の主要書店で発売中。申込み期限は今年二十一日までとなっている。



3級の上級となる「食農3級」は、3級合格者に限定して十一月に実施予定。より専門的な知識を修得し、商品の企画・開発に活かしたいと、心待ちにしている市場関係者も少なくない。日本の食料・農業事情、日本の農産物、地域農産物を問う幅広い内容は、一五〇円(税別)で出題される。